

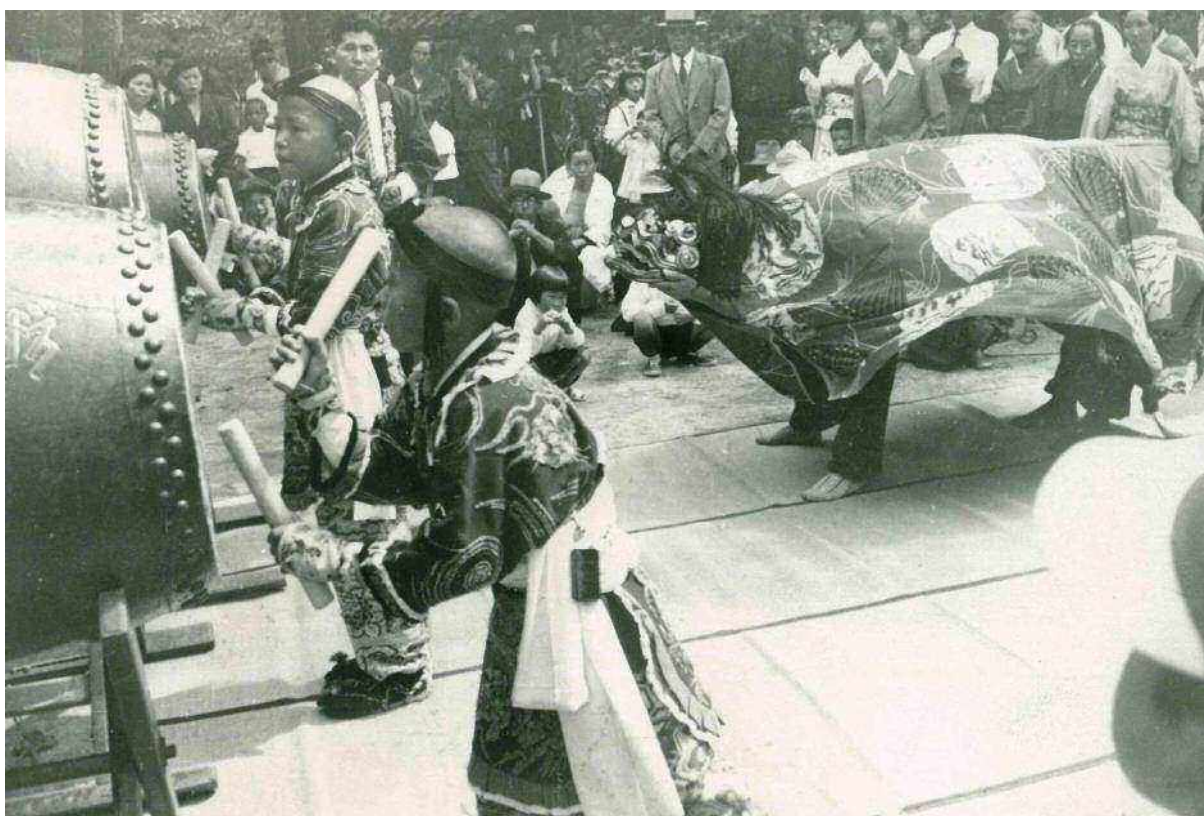
三豊市文書館だより

七 宝

Vol.8

発行 三豊市文書館

平成 25(2013)年 9 月 30 日



栗島の獅子舞（昭和 45・1970 年頃）

目 次

普及事業・・・・・・・・・・ 2

秋期企画展

はじめての文書館 報告

地域連携事業・・・・・・・・・・ 3

新職員の紹介・・・・・・・・・・ 3

文書の移管・整理・公開・・・・ 4

My Select ー資料整理の現場からー 4

表紙の写真・・・・・・・・・・ 4

普及事業

◎ 秋期企画展

「三豊祭礼今昔物語 vol.2 ～ 三豊の獅子舞大集合！ ～」

平成 25(2013)年 10 月 1 日(火)から 11 月 28 日(木)まで開催します。

家浦二頭獅子舞(仁尾町)・吉津夫婦(みょうと)獅子舞(三野町)など無形民俗文化財に指定されているものを中心に三豊市内の獅子舞を写真パネル約 40 点で紹介します。

また、江戸時代に作成された熊岡八幡宮所蔵木造獅子頭(三豊市指定有形文化財(彫刻))も特別公開します。

展示資料紹介



吉津夫婦獅子舞 香川県指定無形民俗文化財

三野町吉津の八柱神社には、秋の祭礼に、北村・正本・大原・谷円の 4 組から夫婦(みょうと)獅子舞が奉納される。

獅子が夫婦(2頭)になったのは昭和初期のことで、それ以前は各組とも 1 頭の獅子であったという。

昭和 10(1935)年の第 5 回県下獅子舞競技会で北村組が 1 等賞となり、昭和天皇の四国巡幸の際には、正本組が天覧獅子舞をおこなった。

◎ 国際アーカイブズの日・中国四国地区第 8 回アーカイブズウィーク 「はじめての文書館！ ～ 裏側(書庫)見学と業務体験～」報告



平成 25(2013)年 6 月 5 日(水)に、「国際アーカイブズの日」記念行事および中国四国地区第 8 回アーカイブズウィークの行事として開催しました。

文書館の役割や利用方法については、まだまだ市民の皆様には馴染みがないため、文書館の利用方法や文書館でおこなっている業務を体験してもらうことで、文書館についての認識を高めていただきました。

当日は 17 名の参加あり、書庫見学や目録作成業務の体験などをさせていただきました。

地域連携事業

◎ まちづくり推進隊詫間・三豊市文書館共同展示

「三豊思い出写真帳 別巻 詫間栗島編」

瀬戸内国際芸術祭 2013 秋会期中(平成 25 年 10 月 5 日(土)～11 月 4 日(月))、栗島案内所(栗島開発総合センター)内で開催します。

三豊市文書館 夏期企画展「栗島 LIFE ～ 公文書からみる暮らしと文化 ～」をご覧いただいた詫間の方数人から、芸術祭開催中、栗島で展示してほしいとのご要望をいただきましたので、まちづくり推進隊詫間と協力し、夏期企画展の一部に新出資料を加えて展示いたします。

芸術祭に出かけられた際には、こちらもあわせてご覧ください。

◎ 三豊市文化財保護協会財田支部主催 三豊市文書館協力

「大正天皇即位大嘗祭関係資料展示」

第 42 回たからだ文化祭開催中(平成 25 年 10 月 26 日(土)～27 日(日))、三豊市役所財田庁舎 1 階にて展示されます。

平成 27(2015)年に大正天皇即位大嘗祭 100 周年をむかえますので、大嘗祭にゆかりのある財田を中心に、関係資料約 30 点が展示されます。三豊市文書館も資料提供・情報提供で協力いたします。

新職員の紹介

今年の 4 月に人事異動で文書館にかわってきた林倉です。林倉と書いて「ハヤシグラ」と読みます。よろしくお願いします。



はじめは、異動先が文書館といってもピンときませんでした。しかし、時が経つのは早いもので、もう半年が過ぎました。その間びっくりしたのは、みなさん仕事がすごくテキパキとしているところです。それぞれ特技を持っているところです。例えば、ポスター一枚作るのも、瞬時に案が出てきます。本当にプロ真っ青のようなものが、すぐに出てきます。目にした人は業者にでも任せたいと思うこと間違いなしです。その他、明治大正時代の文書をすらすらと読むことができる人、題材を与えられるとすぐに製本ができる人、こんな人たちが集まっています。マイペースの僕は、はじめは、どうなることかと焦りましたが、今では、何とか皆さんのペースについていっています。

趣味といえばもっぱらテレビでのスポーツ観戦です。若いころは、スポーツもしていましたが、このところのメタボには勝てません。何か良いダイエット方法がありましたら教えてください。よろしくお願いします。

ところで、みなさんも機会がありましたら文書館に足を運んでください。一年中なにかしらの催しを行っていますので、調べものがあったときに、ぜひ立ち寄ってってください。気持ちがほっとするものが、必ずあると思います。

(主席技能員 林倉 正輝)

文書の移管・整理・公開

◎ 平成 25 年度保存期限満了文書の評価選別作業をおこなっています。

三豊市文書館では、平成 25 年度保存期限満了文書の評価選別作業を継続しておこなっています。残す所、豊中町・山本町・財田町の幼稚園・保育所・子育て支援センターのみとなりました。10 月中に作業を終了する予定ですので、ご協力をお願いします。

My Select — 資料整理の現場から —

「松平伯爵閣下御来村二付歓迎協議ノ件」

昭和 2 (1927) 年 10 月 18 日に開催された村会に「10 月 30 日に香川県教育会会長の松平伯爵閣下が財田上小学校(当時は財田上尋常高等小学校)の視察に来られるにあたり、その歓迎会と敬老会を同時に開きたいので必要な経費を協議したい」という内容の議案が出されています。

この議題に名前が出てくる「松平伯爵閣下」とは、松平頼寿(よりなが)という、江戸時代に高松藩の藩主であった松平家の子孫のことを指しています。明治 41 (1908) 年から昭和 19 (1944) 年まで教育会会長を務め、在任中に県内の幼稚園や学校の視察を何度も行っていましたが、三豊市域では幼稚園の視察はありませんでしたが、財田上小学校の他 10 箇所(箇所)の学校に 1 回ずつ、栗島海員学校に 3 回視察に訪れています。

財田上小学校の視察については議事録や町誌、小学校の百周年記念誌でその事実を確認することができます。しかし、どれも「香川県教育会会長松平頼寿伯本校(財田上小学校)視察、歓迎会を開催」とやや簡潔に述べられているため、視察時の様子などを深く掘り下げて考える手がかりにはなりません。また他の町誌や村会議事録には視察に関する記述がほとんどなく、こちらより詳しい資料が必要になっています。

(臨時職員 篠原 苑美)

イラスト：臨時職員 白井 孝子



昭和 2 (1927) 年 財田村会 会議録

表紙の写真

— 秋期企画展より —

栗島の獅子舞 昭和 45 (1970) 年・詫間町

かつては栗島神社の秋祭りに獅子舞が奉納されていたが、太鼓打ちの子どももいなくなり、現在ではおこなわれていない。

栗島の獅子舞は、太鼓打ちの子どもの衣装が唐様(からよう)で、特徴的である。

※ 「文書館日誌」は、次号にまとめて掲載します。

三豊市文書館だより「七宝」vol. 8

発行 平成 25 (2013) 年 9 月 30 日

編集発行 三豊市文書館

〒768-0103

香川県三豊市山本町財田西 375 番地

TEL 0875-63-1010

FAX 0875-63-1006

